



卓 話



イニシエーションスピーチ 神津 信一会員

本年1月に岩野さんのご紹介により、入会させていただきました。四谷3丁目に事務所を構えております税理士の神津信一でございます。



1. 経歴と家族・仕事について

昭和24年に東京都で生まれ、小学校は大田区の久が原小学校から麴町中学校へ進み、都立日比谷高校を卒業後、1年浪人後に慶応の経済学部に進学しましたが、病気をした事も原因して中退し、先輩の紹介で養生がてら公認会計士事務所に勤務しました。子供が生まれる事もあり、税理士試験に挑戦し合格、所長の勧めで独立開業して今日に至ります。

税理士会では10年ほど前に四谷支部の支部長を勤め、現在は東京会2万会員の副会長として税制改正、租税教育などを担当し苦戦中です。

父は昨年他界しましたが、長野県佐久に生まれ、出征後に日本通運に勤務し、役員になってからは横浜西ロータリークラブの会員でありました。私もロータリーのクリスマス家族会等に参加した思い出の中に、父の満足そうな笑顔がリンク致します。

未だに母や私とメンバーの方々と親交が続いており、その絆の強さに感銘し、私もいつかロータリアンになりたいと思っておりました。

家族は大学の後輩である妻と、長男、及び現在事務所で私の秘書をしている長女との4人家族です。家族の一員となっていますペットは、現在体調70セ

ンチ、体重30キロのかい「ケズメ陸亀」で、10年以上同居しております。水に入らず、食事は野菜が中心のアフリカ原産の亀です。購入当時は体調15センチ程のかわいい小型亀でしたが、今では重すぎて妻ではなかなか持ち上げられないほどに成長しました。

2. 自分のDNAについて

私のルーツについてお話しします。

先祖は信州佐久の武将でしたが、戦国時代に武田信玄に制圧され武装解除してからは、大規模農家を営んでおりました。明治の初めには、一族の者数名が慶応の福沢諭吉先生の門下生となり、先生の薫陶を受けて日本の近代国家建設の一端を担いました。

銀行を開業し、長野電鉄の開業、志賀高原の開発等を致しましたが、直系の先祖は神津邦太郎と申しまして、福沢先生の勧めでアメリカに留学して牧畜業を学び、明治20年長野県と群馬県の境に日本で初めての洋式牧場である神津牧場を開祖しました。

福沢先生は、神津牧場のバターを産するに、他のバターは召し上がらないとおっしゃる程で、福沢書簡集にもバターの絶賛のお言葉はたびたび登場いたします。牧場は現在神津家の手を離れて財団法人と成り、酪農と観光の牧場として運営しています。バター、ヨーグルト、チーズが美味しいので軽井沢方面にお出かけの節には、是非寄ってみて下さい。

明治維新を契機として信州の田舎から上京し、勉学に勤めて酪農が近代日本の建設に必要なであるとの信念を抱き、青雲の志の基に、今で言うベンチャービジネスの牧場業を始めた先祖のDNAを私は大事にしたいと思っております。

今回ご縁がありまして四谷ロータリークラブの一員に加えていただきましたが、末永く宜しくお願い致します。